

行政調査報告

総務常任委員会

北海道室蘭市「5月22日」

▼市税等の収納対策について

室蘭市では、平成18年6月にインターネット公売や平成18年11月にタイヤロックによる差し押さえ予告による新たな収納手段の導入で、滞納対策の幅を広げている。

また、平成20年4月より3市1町で同時にコンビニ収納を開始した。この結果、納付する窓口が倍増し、市民にとっては納付の利便性が飛躍的に拡大し、納期内納付が高まると見込まれる。

岩沼市は、タイヤロック差し押さえ予告も実施するべきである。コンビニ収納については、岩沼市においても検討していく必要がある、費用対効果の面から、広域行政（2市2町）で取り組むべきと考える。



収納対策について説明を受ける委員

◎ほかの調査地

北海道伊達市「5月21日」

▼地震災害対策について

教育民生常任委員会

愛知県大府市「5月27日」

▼健康づくり事業について

大府市では、「健康」は人、家庭、社会にとつて最大の財産であることから「健康づくり都市」宣言をしている。

生活改善の取り組みは、生活環境の変化に伴い、バランスのよい「ごはんを中心とした、日本型食生活」を推進している。

また、生活習慣病の予防については、健康度調査と意識付けが健康の一步であり、測るだけの健康や無理なく運動できる環境づくりを目標にしている。

岩沼市でも、市民一人一人が健康を自覚し、バランスの取れた食事を取り、気軽に無理のない運動習慣を持つことが長生きの秘訣であり、健康は、医療費の節減にもつながるので、今後健康事業を推進すべきと考える。

◎ほかの調査地

岐阜県大垣市「5月28日」

▼子育て支援について

石川県加賀市「5月29日」

▼地球温暖化対策について

建設産経常任委員会

埼玉県東松山市「5月15日」

▼駅前整備事業について

東松山市の駅前整備事業は重点施策と位置付け、庁舎内に「駅周辺整備室」を設置した。アンケートのとり方、そのアンケートを反映させる手法は、将来性を十分に勘案している。

駅前広場の建設は景観や空間を十分検討しながら、後に負担を掛けないことを前提にし、街路樹の種類や本数については維持管理面で負担を抑えるよう計画されている。

岩沼市としても、駅前広場の整備についてはさまざまな角度から事業を実施することが望ましい。大事業こそ時間をかけ、市民の声を反映させた利便性の高い駅前広場作りが必要である。



駅前整備について説明を受ける委員

◎ほかの調査地

栃木県真岡市「5月13日」

▼企業誘致の優遇策について

茨城県取手市「5月14日」

▼中心市街地活性化事業について

議会運営委員会

東京都武蔵野市「7月22日」

▼議会改革について

武蔵野市議会は議会改革を平成17、18年度の2カ年で検討し、実行に移した。

議長呼び掛けに会派などから提出された改革案は計124項目。これを議会運営委員会と会派代表者会議、議会広報委員会の三つに分けて、計59回の協議でまとめ上げた。

合意は全会一致を基本としたが、議員定数などは多数決で決めた。定数は4名減の26、政務調査費は月額5、000円増の年48万円とした。議長のリーダーシップが大きかった。

減らすべきは減らし、必要があれば増やす。岩沼では議運委で検討中だが、4年目。スピードも求められる。可能なものから実施していくべきと考える。

◎ほかの調査地

東京都羽村市「7月23日」

▼議会改革について

編集後記

議会だよりの表紙の写真は、第103号より保育所（園）シリーズとして、子どもたちを掲載することにしました。今回は、亀塚保育所の皆さんに協力をいただき、いきいきとした子どもたちの写真を撮ることができました。ありがとうございました。

さて、9月定例会の一般質問は、これまでに例がない19名と多くの議員が行いました。その結果、通常一人当たり3〜4項目掲載していた一般質問は、紙面が8ページと限られているた

19人が一般質問

め、今回は2項目までの掲載となりました。本委員会では、現在ページ数を増やすことも検討中です。早急に実現したいと考えています。

なお、開かれた議会の一環として、このたび議場改修に取り組み、マイクの更新とモニターテレビ、難聴者用ヘッドホンを設置し、傍聴者にとって、見やすい、聴きやすい議場に生まれ変わりました。ぜひ、12月定例会には一人でも多くの市民の皆さまに傍聴していただければ幸いです。

情報化対策特別委員会